

山口情報芸術センター [YCAM]

Yamaguchi Seasonal 2022

Forest Symphony + water state 1

2022年9月17日(土)～2022年12月25日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] サテライトA、常栄寺

**作品とともに見つける山口の新しい景色
坂本龍一と高谷史郎の名作2作品を再展示！**

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展覧会「Yamaguchi Seasonal (やまぐちシーズナル) 2022」を開催し、坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)》および坂本龍一＋高谷史郎《water state 1 (ウォーター・ステート・ワン)》の2作品を展示します。

両作品はいずれもメディアテクノロジーを応用し、アーティストとYCAMのコラボレーションのもと制作された、YCAM発の代表的なインスタレーション作品で、国内外の美術館や芸術祭でも数多く展示され、好評を得てきました。2020年からは山口市内の特設会場で長期展示を重ねており、今回が3年目の展示となります。

世界各地の樹木の生体データからサウンドを生成する《Forest Symphony》と、水が見せる複雑な変化を抽出することで新たな空間を創出する《water state 1》。いずれも、人工的な装置を使用しながらも、自然の変化を繊細に切り取り、私たちを取り囲む環境へと意識を向けさせます。この機会にぜひご体験ください。



展示作品のひとつ坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 広報担当

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

アートとメディアテクノロジーの遭遇が山口の風物詩になる



作品制作時の坂本龍一と高谷史郎（2007年）
撮影：丸尾隆一（YCAM）

YCAMは、開館以来、メディア・テクノロジーを応用した新たな表現の探求を活動の軸に据えており、これまでに三上晴子、エキソニモ、カールステン・ニコライ、中谷芙二子といった第一線で活躍するアーティストたちとともに多種多様なインスタレーション作品を制作／発表してきました。

本展は、YCAMがこれまで制作／発表してきたインスタレーション作品を、山口市の中心市街地や史跡で公開する展覧会シリーズの第一弾で、音楽家・坂本龍一が制作に携わった2つの作品を再展示します。展示作品はいずれも音楽家の坂本龍一と、アーティストの高谷史郎、そしてYCAMと共同で制作したインスタレーション作品で、自然と人間社会の境界で長い時間をかけて発展してきた「庭」という文化の形式に、多くのインスピレーションを受けています。水滴と波紋、樹々の生命活動の痕跡がもたらす揺らぎ、そしてそれらを包み込むサウンド。不定形で、刻々と変化する作品たちは、画一的な意味に収まることなく、鑑賞者に社会や日常生活の外にある、自然や環境のリズムや諧調へと同期していくことを促します。

会場は駅通りにオープンしたYCAMの分館に当たるサテライトA、そして雪舟庭で知られる常栄寺です。秋から冬にかけて、表情豊かに変化していく山口の自然景／生活景のなかで、環境へと感覚を開くインスタレーション作品を鑑賞することで、自然と人間社会を等価に見渡す、新たな景色を発見できるでしょう。またギャラリーツアーなどのプログラムも多数開催し、作品を読み解く視点を養う多様な機会を生み出します。

■ 坂本龍一（さかもと・りゅういち）

音楽家。1952年東京生まれ。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年『YELLOW MAGIC ORCHESTRA (YMO)』に参加。散開後も多方面で活躍。また、数々の映画音楽を手がけ、作曲家として米アカデミー賞を受賞するなど世界的な評価を得つつ、常に革新的なサウンドを追求している。

環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」の創設、「stop rokkasho」、「NO NUKES」などの活動で脱原発支持を表明、また「東北ユースオーケストラ」を立ち上げるなど音楽を通じた東北地方太平洋沖地震被災者支援活動も継続して行っている。

■ 高谷史郎（たかたに・しろう）

1963年生まれ。1984年からアーティストグループ「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館等で公演／展示を行う。1998年からダムタイプの活動と並行して個人の制作活動を開始。マルセイユ・フェスティバル、國家兩廳院（台湾）での公演や、ZKM（ドイツ）、パリ科学産業会館、シャルジャ・ビエンナーレ（UAE）などでの作品展示、また、中谷芙二子、野村萬斎、十五代吉左衛門・樂直入らとのコラボレーション作品も多数。2021年6月オランダ・フェスティバルで坂本龍一との新作公演「TIME」を世界初演。2022年ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展でダムタイプが日本代表作家として日本館で展示。

展示作品3：坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》



坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

「water state 1 (ウォーター・ステート1)」は、坂本と高谷のコラボレーションによって制作されたインスタレーション作品で、2013年にYCAMでの滞在制作を経て発表されました。

水が見せる多様な様態をメディアテクノロジーで抽出する

水は温度によって氷、水、水蒸気と、その様態を変える。水がつくり出す雨、雲、霧、雪、海、河、湖、滝、冰山、氷河などの自然現象は、どれをとっても、いつまで眺めていても飽きることはない。

また、この惑星の表面積のおよそ7割が水に覆われ、私たちの身体の7割が水でできており、生命の源でもある。

— 坂本龍一

会場の中央には、一見鏡と見間違ふほど澄んだ水面を持つ台座と、岩が周囲に配置されています。水面には、会場を包み込む繊細なサウンドに呼応するかのよう水滴が落ち、波紋が広がります。時間をかけ水滴の落ちる量やスピード、場所が変化し、水滴に合わせ、会場内の光量が微かに変化していくなか、鑑賞者は水滴によって波紋が広がり干渉しあう様子を眺めます。水の様態の変化を起点とした、環境のわずかなコントラストの変化により、さまざまな記憶を喚起させることで、環境への意識が開かれていきます。水の様態を中心に据えた庭のような作品からは、雪舟をはじめとする、日本ならではの自然や環境に対する眼差しが想起されます。

展示作品2：坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》



坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》
撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

「Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー)」は、2013年に坂本とYCAMが発表したアートプロジェクトで、ここから派生したインスタレーションとウェブコンテンツです。今回は昨年引き続き、雪舟庭で知られる常栄寺を会場に改訂したバージョンを展示します。

森が奏でる交響曲 (シンフォニー)

2011年の東日本大震災の後、坂本は〈人類が生きる環境〉を支える森林へと意識を向けるべく、樹木が発する微弱な生体電位を元に楽曲を制作するというアートプロジェクトを構想しました。そのプロジェクトにYCAMが参画し、インスタレーションやウェブコンテンツとして展開したものが「Forest Symphony」です。

本プロジェクトでは、YCAMが樹木の生体電位を計測し、ネットワーク経由でサーバーに集積するセンサーデバイスを開発。世界各地の樹木にそれを設置し、生体電位を収集しています。そして、集められた樹木のデータにもとづき、会場を包み込むサウンドを生成するとともに、アーティストの高谷史郎のビジュアルディレクションのもと、生体電位の変化や、センサーデバイスが設置された環境の情報を視覚的に表現。これらをサウンドインスタレーションとして空間的に統合し、季節や天候に応じて変化を続ける〈森のような空間〉が現出します。雪舟ゆかりの地、常栄寺雪舟庭を眺めながら、微細に変化する森の息遣いに耳を傾けるかのような観賞体験を楽しむことができるでしょう。

開催概要

Yamaguchi Seasonal 2022 Forest Symphony + water state 1

2022年9月17日(土)～12月25日(日)

入場無料※ただし、常栄寺雪舟庭入場料は別途必要

休館日：火曜日(祝日の場合は翌日)

会場1

山口情報芸術センター [YCAM] サテライトA

坂本龍一＋高谷史郎《water state 1》

10:00～18:00

会場2

常栄寺(山口県山口市宮野下2001)

坂本龍一＋YCAM InterLab《Forest Symphony》

10:00～16:30

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

助成：令和4年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連イベント

ギャラリーツアー (Forest Symphony)

2022年9月18日(日)、10月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、11月6日(日)、13日(日)、27日(日)、12月11日(日)、25日(日)

各回14:00～15:00

定員：5名(要事前申込)

ギャラリーツアー (water state 1)

2022年9月17日(土)、10月8日(土)、15日(土)、22日(土)、11月5日(土)、12日(土) 26日(土)、12月10日(土)、24日(土)

各回14:00～15:00

定員：5名(要事前申込)

展示作品をスタッフとともに鑑賞するツアー形式のイベントです。展覧会の背景にある社会的テーマや技術的動向についての解説のほか、参加者同士で作品について議論し、意見を共有する機会も積極的に設けていきます。

このほか同時期に実施する「やまぐちアートコミュニケータープログラム2022」に関連して、イベントを開催する予定です。